



7月20日開催 市議会臨時会で可決

新型コロナウイルス感染症緊急対策アクションプランの関連予算などが可決されました。

予算案件

小中学校に学習支援員を配置

学校再開後の学習をより効果的に進めるため、児童・生徒数に応じて1校当たり1〜3人程度、学級担任の補助などを行う学習支援員を配置します。
1739万円

小中学校再開に伴う感染症対策や学習保障に

児童・生徒数に応じて、各学校に200〜400万円を配分し、感染リスクを最小限にしながら十分な教育活動を継続するための設備の整備や物品の購入、児童・生徒の学びを保証するための物品の購入を行います。
1億8100万円

妊婦のPCR検査費用補助など

希望する妊婦に、出産前のPCR検査費用の助成、感染した妊産婦への訪問・電話などによる支援を実施します。
5053万円

ふるさと納税返礼品送付始まる

シティブロモーションの推進や地域経済の発展などのため、8月からふるさと納税ポータルサイト「ふるさと納税」で返

礼品の送付を開始しました。市内で製造されている魅力ある商品などを市外在住の寄付者に送付します。返礼品は今

後、さらに充実させる予定です。岡地域経済振興室 TEL 170・2326 FAX 6384・1292。

ホームタウンデザインラップピングバス運行中

「ガンバ大阪のあるまち」として、市民に愛着を持ってもらい、ガンバ大阪を市全体として応援する機運を盛り上げるために、ガンバ大阪のエンブレムやキャラクターなどが施されたバスが市内阪急バス

路線を運行しています。バスの後部には、市制80周年のロゴマークも施されています。岡文化スポーツ推進室 TEL 384・2100 FAX 6368・9908。



市長コラム No.61

こもれび通り

後藤圭二

生命維持装置 その2



コラムの音声版はこちら

思わず笑顔がこぼれてしまうとき、感激のあまり涙するとき、「やったあー」と喜びを爆発させるとき、「よーし、やってやる」と気合いが入るとき。

このように心が沸き立ったのはいつでしたか。人と会う機会を減らし、外出を控える日々が既に半年以上。このようなシーンが間違いなく少なくなりました。

先月号で劇作家平田オリザさんの言う「生命維持装置」について書きました。私たちは、文化、スポーツ、恋愛、育児、ショッピング、家事、仕事など、何かを手に入れたとき、感動や喜び、達成感を覚えます。それが人が生き生きと暮らすうえで、とても大切な役割を果たす「装置」だとい

話でした。

プラスに働く感情が沸き上がってくる時には、脳内に、ある種のホルモンが沸き上がる(分泌される)ことが分かっています。それをもたらすものを装置と例えているのです。

私たちは人と接し、対話することで関係を保つ社会的動物です。淡々とした日常を送ることができる幸せと、一気に気持ち上がるアクセント、そのどちらも私たちの豊かな人生に欠かすことができません。

きたるべき日のために、この装置が社会や地域の中で、またみなさんの心の中でさび付かないよう、磨いておく時間を大切にしてほしいと思います。